安全就業だより

公益社団法人 小郡大刀洗広域シルバー人材センター
会員ニュース第２号(平成２９年７月)

～　安全就業強化月間特集号　～

この度の九州豪雨で被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

台風３号の直撃を免れ、ほっとしたのもつかの間、翌５日には記録的な短時間豪雨が福岡県や大分県を襲いました。私達が度々訪れ目にしている地域の変わり果てた光景がテレビに映し出される度に、胸が痛み自然災害の恐ろしさを実感します。ここ小郡、大刀洗でも一部地区で避難勧告、避難指示が出されましたが、幸い大事に至らずに済みました。雨雲の位置がもう少し東であれば、どのようなことになっていたのか・・・想像を絶するものがあります。

このようなこれまでに経験したことのない異常気象は、今後も多くなると予測されています。関東地方では、梅雨明け前の猛暑で死者が出ています。このたよりがお手元に届くころには、九州地方もかなりの暑さに見舞われているはず。熱中症から我が身を守るのは、自分自身です。身体が慣れていないこの時期は特に注意してください。健康管理と早めの対策でこの夏を乗り切りましょう。

7月4日の安全就業促進大会は中止と致しました　地域班長さんのご協力に感謝します。

安全就業促進大会の開催は、筑後地方が台風３号の進路に当たり影響が予測されたため、前日になって急きょ中止を決定させていただきました。２４５名の会員さんが参加する予定であり、中止の連絡を各地域班長さんにお願いすることとなりましたが、皆さん気持ちよくご協力くださり大変助かりました。ありがとうございました。この場で改めてお礼申し上げます。

安全大会に限らず、出欠の集約を地域班長さんにお願いをしておりますが、班長に連絡を入れない会員さんも多く、班長さんにご面倒をおかけしております。班長から確認の電話をしても、何のことか話が通じないことも度々あるとのことです。事務局だより、安全だより等の事務局からのお知らせにはきちんと目を通し、各自が責任をもって班長に連絡するようにしてください。シルバー人材センターは、会員自らが動く組織です。“自主”“自立”を実践しましょう！

さて、予定日の４日は心配された影響もなく、昼頃からはお天気も回復しました（結果論ですが・・・）。今年度、安全就業促進大会については、やむを得ず中止とさせていただきますのでご了承ください。

平成29年度安全標語優秀作品　応募総数73点より4作品を選出しました。

《優秀賞》
お互いが　ひとこと掛けて　防ぐ事故
鶴田　英二　会員（大保原・西島）

《優秀賞》
安全は誰のため　基本に忠実　我が身を守る
林　幸男　会員（福　童）

《優秀賞》
急がず　慌てず　基本を守って　事故防止
野見山　徹彦　会員（古　賀）

《最優秀賞》
焦るな急ぐな慌てるな　皆んなで守ろう　安全作業
栗秋　和治　会員（大保原・西島）

優秀作品の選考は、６月１３日の安全就業委員会において、厳正な審査をもって行われた結果、右の４作品を選出致しました。

例年、安全就業促進大会において表彰をしていましたが、今年度その機会を逸してしまい、受賞者の皆さんには申し訳ありませんでした。

最優秀賞に選ばれた栗秋和治会員にお話しをうかがいました。栗秋会員は、シルバー人材センターの仕事の中でも危険度の高い植木剪定班に所属しています。安全について、日頃心掛けていることは、「まず自分の安全」であり、不安全な行動を避け慎重に作業をするよう自戒しているそうです。“高齢者”ということを忘れて作業を急いだときにヒヤリとした経験が、この作品に繋がりました。また二番目に、「一緒に作業をする人の安全」にも気を配るようにし、安全違反や危険なことについては、「言いにくくても絶対に見ないふりをせずに、優しく注意するようにしています。」とのことです。
是非これからも安全作業を続けてください！

最優秀賞　栗秋会員

また、鶴田会員は、昨年度最優秀作品「**声かけで　摘み取る事故の芽　危険の芽**」が、今年度の福岡県シルバー人材センター連合会においても佳作受賞し、８月３１日の県連合会安全就業促進大会にて表彰される予定です。当センターにおいても２年連続の受賞となりました。

＊＊　応募くださった　27名の皆さん　＊＊（敬称省略）

ご応募された方全員に、後日粗品を差し上げます。

有川　穂積	安藤　宗近	井上　康矩	上野　忠三郎	内野　律子	緒方　高義
熊谷　健	栗秋　和治	小松　芳明	白石　惠	棚町　良徳	鶴田　英二
中垣　一夫	中村　遼子	西田　繁子	仁田野　智章	野田　忠彦	野見山　徹彦
林　幸男	平川　喜隆	藤原　忠行	渕上　信吉	松鵜　正好	松田　宏
峯崎　泰一	森山　嘉威	山田　和浩			

ご応募ありがとうございました！

７月は安全･適正就業強化月間です

安全第一
SAFETY FIRST

各シルバー人材センターでは、国が定める「全国安全週間」に合わせ７月を「安全・適正就業強化月間」とし様々な取組みが行い、安全意識の高揚に努めると同時に日頃の就業の総点検をするようにしております。生きがいを得るためのシルバー人材センターで、悲惨な事故があってはいけません。全ての会員が安全を自分自身とシルバー組織全体の問題ととらえ、事故を起こさないよう緊張感を持って就業にのぞんでください。

平成２８年度の重篤事故は、全国で２８件（うち死亡１９名）発生しました。重篤までには至らないでも入院、通院が必要なケガも多発し、賠償責任事故では賠償金額が何百万円と非常に高額となるケースが増加している状況です。。

～ 全ての会員さんへ ～
以下の項目の総点検と実行をお願いします！

１．自分自身の健康管理
（毎日の健康チェック、健康診断の受診等）

２．早め早めの対策で熱中症の予防

３．交通事故の防止、交差点では確実な確認を

４．就業現場の安全確認、危険作業は受注しない

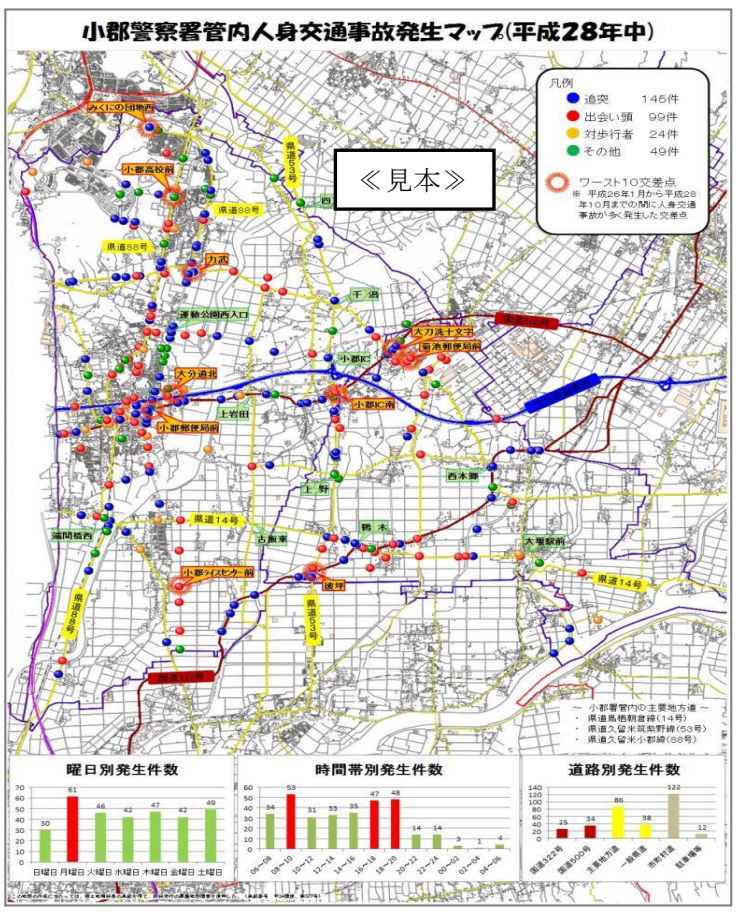
５．就業前のＫＹ（危険予知）ミーティング

６．就業中の整理、整とんで転倒防止

７．安全保護具の着用徹底と点検

８．使用する用具、機材の点検と手入れ

- 各職群班、グループで日頃使用している保護具、用具、機械の点検をしてください。ヘルメットに大きな傷はないですか？安全帯のひもは擦り切れていませんか？掃除に使う道具や脚立、除草鎌、託児の子供さんが使うオモチャなど就業で使用するもの全部が対象となります。センター所有の物に限らず、バリカンや刈払機などの個人持ちの機械も点検、整備し、お互いにチェックし合ってください。
- 作業前、グループでの打ち合わせを確実にしましょう！現場では、まずＫＹミーティングを実施。全員で現場を確認し、予測される危険を注意し合い対策します。作業の手順と、お互いの健康状態も確認。この作業前のミーティングが確実にできていれば、多くの事故を未然に防ぐことができます。
- 高齢者という観点から、危険と思われる作業はお断わりをしています。足場の高さ２ｍを超える作業、斜面や転落の危険性が高い作業等は受けられません。



「小郡警察署管内の人身交通事故発生マップ」を小郡本所、大刀洗出張所の事務所に掲示しています。また、ホームページからも見ることができます。（福岡県警察→小郡署トップページ→小郡警察署からのお知らせ→交通情報コーナー）

皆さんが普段通る道はいかがでしょうか？是非、事故が発生しやすい場所を再確認してください。食卓の話題にするなど、ご家族にも教えてあげましょう。

こんな感じです⇒

平成２９年７月 ～ １０月

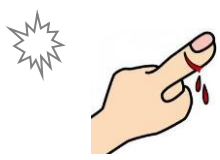
無事故チャレンジ運動2017

一昨年度から５２２日間続いていた傷害事故の無事故記録は、残念ながら途切れました。今年度ここまで傷害事故１件、賠償責任事故１件が発生しています。

無事故チャレンジ運動は、２００９年にスタートし９年目となりました。安全就業促進月間の７月をかわきりに暑さ厳しい８月と９月、当センターで重大事故が起きた１０月までを集中力をきらさずに無事故で過ごそうという呼びかけが、無事故チャレンジです。しかし、これまで“４ヶ月間無事故”を達成できたのは２回だけです。今年こそは、皆で声掛け合いながら４ヶ月間の無事故を達成させましょう！

事 故 報 告 ＞ 《 傷害事故 》

１．発生日時　平成２９年６月２１日（水）１０時５０分頃
２．場　　所　小郡市津古　発注者宅
３．会　　員　大刀洗出張所 植木剪定班　７０才　男性
４．事故内容　脚立上で小型バリカンを使用して、ツツジの剪定をしているときに、誤ってバリカンの刃に左手が触れて中指と薬指を切った。７針縫合。
事故時の状況を本人はよく覚えていないため推測となるが、脚立がわずかに動いたように錯覚し、無意識に手を出したのではないかとのこと。



≪動力機械に注意しましょう。≫

剪定時のバリカンによるケガは、毎年のようにとは言わないものの繰り返し起きています。動力により動く刃は、ほんの一瞬触れただけで大ケガとなります。指は切らずとも、剪定班のバリカンのコードを見ると、うっかり切ってしまったのか修理した形跡が目立つようです。毎日頻繁に使う機械であるため、“危険”との認識が薄れがちになりますが、スイッチを切ったあとも瞬間的には止まらずに惰性で動いているので、最後まで注意が必要です。（近頃は、メーカー側も瞬時に停止する工夫をしているようですが・・・）

チェンソー、刈払機の回転刃、回転砥石など、便利な機械も使い方次第で危険な道具と化してしまいます。改めて注意をしてください。